

## 2022 年度地下水の水質測定計画（案）の主な変更点

概況調査、継続監視調査について、2021 年度の測定計画から測定地点、測定項目を変更している。

### 1. 環境基準の一部改正に伴う変更

令和 3 年 10 月 7 日付け環境省告示第 63 号により、地下水の水質汚濁に係る環境基準について（平成 9 年 3 月環境庁告示第 10 号）の一部を改正し、令和 4 年 4 月 1 日から適用する旨告示された。改正の概要は、六価クロムの基準値（現行 0.05mg/L 以下）の強化とそれに伴う測定方法の変更であり、これらの改正内容について、2022 年度地下水の水質測定計画に反映させる。変更内容は表 1 のとおり。

表 1 六価クロムの基準値の見直しに係る変更内容

項目	基準値	測定方法
六価クロム	0.02mg/L 以下	規格 65.2（規格 65.2.2 及び 65.2.7 を除く）に定める方法（ただし、次の 1 から 3 までに掲げる場合にあっては、それぞれ 1 から 3 までに定めるところによる。） 1 規格 65.2.1 に定める方法による場合 原則として光路長 50mm の吸収セルを用いること。 2 規格 65.2.3、65.2.4 又は 65.2.5 に定める方法による場合（規格 65. の備考 11 の b）による場合に限る。）試料に、その濃度が基準値相当分（0.02mg/L）増加するように六価クロム標準液を添加して添加回収率を求め、その値が 70～120%であることを確認すること。 3 規格 65.2.6 に定める方法により塩分の濃度の高い試料を測定する場合 2 に定めるところによるほか、JIS K0170-7 の 7a) 又は b) に定める操作を行うこと。

### 2. 概況調査

測定地点数 65 地点

ローリング方式：65 地点（地域をメッシュ等に分割し、毎年度、各測定機関が調査区域を選定して順次調査を行っている。2021 年度計画から測定地点は全て変更しており、測定地点数は 5 地点減少、1 地点増加。測定地点数の減少理由は表 2 のとおり。）

表 2 概況調査（ローリング方式）における測定地点数の変更内容

測定機関	変更内容
吹田市	重点化の観点から年 10 地点で調査していたが、基準超過等見られなかったため、2022 年度計画からは年 5 地点とし、前年度から 5 地点減となる。
寝屋川市	7 地点を 4 年間で一巡して調査している（2 地点→2 地点→2 地点→1 地点）。2022 年度の測定地点数は 2 地点であり、前年度から 1 地点増となる。

### 3. 継続監視調査

- (1) 自然由来の地下水汚染と考えられる継続監視調査地点について、令和3年9月22日開催の第2回水質部会で承認された自然由来要件及び終了要件を満たす場合は継続監視を終了することとし、2022年度地下水質の水質測定計画に反映させる。詳細は資料1-6のとおり。
- (2) 測定地区数、地点数 99地区119地点(2021年度計画:98地区119地点)  
(2021年度末までの調査結果により終了の要件を満たす可能性のある2地区2地点を含む。変更内容は表3、表4のとおり。)
- (3) 測定項目 地点ごとに定める健康項目、一般項目6項目(変更内容は表3、表4のとおり。)

表3 継続監視調査における各項目の変更内容

測定項目	測定地区数			測定地点数			変更理由
	2021 (R3)	2022 (R4)	変更数	2021 (R3)	2022 (R4)	変更数	
VOC	60	60	+1	78	78	+1	新規
			-1			-1	地点変更
			-1			-1	終了
全シアン	1	1	0	1	1	0	—
鉛	5	5 (1)	-1	5	5 (1)	-1	終了
砒素	15	15	+1	15	15	+1	新規
			-4			-4	終了
			+3			+3	ローリング調査
			-4			-4	ローリング調査
総水銀(アルキル水銀※3)	4	5	+1	4	5	+1	ローリング調査
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	18	19 (1)	+2	20	21 (1)	+2	新規
			-1			-1	ローリング調査
ふっ素	10	10	-3	11	11	-3	終了
			+1			+1	ローリング調査
ほう素	4	3	-1	4	3	-1	ローリング調査
全調査地点(地区)数	98	99 (2)	0	119	119 (2)	-1	—

※1 ( )内は内数であり、2021年度までの調査結果により終了の要件を満たす可能性のある地区数・地点数である。

※2 数年に一度継続監視調査を行う地点で、当年度に測定しないものは、測定地点数としてカウントしない。

※3 アルキル水銀については、総水銀が検出された地点について測定を行う。

表4 継続監視調査における測定項目の変更地点一覧

変更点	図中地区番号	地区内番号	所在地		測定項目の増減	変更理由	測定機関	変更後の調査地点	
			市町村	地区名					
新規	T-8	12	高槻市	南庄所町	砒素、クロロエチレン(別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン	増加	事業場跡地で汚染が判明。周辺地区調査で最も濃度の高かった地点を新規地点として調査する。	高槻市	—
	T-229	—	羽曳野市	飛鳥	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		2021年度の所有者による自主調査により、汚染が判明。	大阪府	—
	T-230	—	泉大津市	下之町	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		2021年度の所有者による自主調査により、汚染が判明。	大阪府	—
地点変更	T-8	3	高槻市	下田部町	クロロエチレン(別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン	減少	井戸が埋まってきており、継続した調査が困難となる可能性があるため、隣接する継続監視地点で集約して調査する。	高槻市	T-8-4 (下田部町)
		5	高槻市	西冠	クロロエチレン(別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン			井戸が廃止となったため、周辺井戸に地点を変更。	高槻市
	T-127	3	池田市	木部町	ふっ素、ほう素	増減なし	近接するより検出濃度の高い地点に変更。	大阪府	T-127-4 (古江町)
	T-153	3	岸和田市	春木宮川町	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		検出値が低いため、同地区内でより検出濃度の高い地点に変更。	岸和田市	T-153-4 (八幡町)
	T-218	—	堺市	美原区多治井	クロロエチレン(別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン		井戸が埋め立てられたため、周辺井戸に地点を変更。	堺市	T-218-2 (美原区多治井)
項目追加	T-8	1	高槻市	桃園町	1,1,2-トリクロロエタン	増加	当該地区について、汚染の可能性のある物質を追加して調査を実施する。	高槻市	—
		2	高槻市	桃園町				高槻市	—
		4	高槻市	下田部町				高槻市	—
		10	高槻市	明田町				高槻市	—
		13	高槻市	西冠				高槻市	—
	T-106	1	高槻市	幸町				高槻市	—
		2	高槻市	幸町				高槻市	—
		4	高槻市	幸町				高槻市	—
	T-113	—	高槻市	宮田町				高槻市	—
	T-141	2	高槻市	西大樋町				高槻市	—
	T-226	—	高槻市	登町				高槻市	—

変更点	図中 地区 番号	地区内 番号	所在地		測定項目の増減	変更理由	測定機関	変更後の 調査地点	
			市町村	地区名					
終了	T-62	—	和泉市	小田町	砒素	減少	自然由来による汚染であると判断されるため、調査を終了する。	大阪府	—
	T-64	—	池田市	伏尾町	砒素			大阪府	—
	T-78	—	島本町	山崎	砒素			大阪府	—
	T-148	—	能勢町	下田	ふっ素			大阪府	—
	T-156	—	大東市	寺川	ふっ素			大阪府	—
	T-181	—	摂津市	別府	鉛、砒素			大阪府	—
	T-202	2	豊能町	余野	ふっ素	2020年度の継続監視終了調査により、調査終了の要件を満たしていることを確認。	大阪府	—	
	T-204	—	守口市	大宮通	ベンゼン		大阪府	—	
2021年度までの調査結果により終了とする可能性のある地点	T-125	2	高石市	高師浜	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	減少	2021年度に継続監視終了調査を実施中であり、調査終了の要件を満足すれば終了する。	大阪府	—
	T-185	-	岸和田市	稲葉町	鉛			岸和田市	—
新規のローリング調査による増減	T-67	2	能勢町	野間出野	砒素	減少	自然由来で検出されることのある項目で、過去5年間一定濃度（環境基準値は超過しているが、高濃度ではない場合）で安定していることから、3年おきに継続監視調査を実施することとし、2022年度は実施しない。	大阪府	—
既存のローリング調査による増減	T-32	1	高槻市	東上牧	砒素	減少	5年おきに継続監視調査を実施する地点であり、2022年度は実施しない。	高槻市	—
	T-71	1	高槻市	阿武野	砒素			高槻市	—
		2	高槻市	阿武野	ほう素			高槻市	—
	T-77	—	枚方市	樟葉中之芝	砒素	増加	4年おきに継続監視を実施する地点であり、2022年度は実施。	枚方市	—
	T-142	—	枚方市	長尾元町	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	減少	4年おきに継続監視を実施する地点であり、2022年度は実施しない。	枚方市	—
	T-155	—	枚方市	東香里元町	総水銀	増加	4年おきに継続監視を実施する地点であり、2022年度は実施。	枚方市	—
	T-157	—	池田市	古江町	砒素			大阪府	—
	T-164	2	和泉市	三林町	ふっ素			大阪府	—
	T-182	—	河内長野市	東片添町	砒素			大阪府	—
	T-199	—	堺市	西区家原寺町	砒素	減少	3年おきに継続監視調査を実施する地点であり、2022年度は実施しない。	堺市	—